

イルミナティのマウイ島のラハイナの先住民に対する攻撃作戦

- 2023年8月8日に、「イルミナティ」は、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を初め何年も前から計画された「極めて高度に洗練された組織的な攻撃作戦」によって、ハワイ州のマウイ島の「ラハイナの地域と住民」、そしてマウイ島のその他の複数の孤立した場所を破壊した事
 - イルミナティは複数の目的を達成する為に、この時期にこの攻撃作戦を実行する事を選んだ事。その複数の目的の中の一部は次の通りである事
 - ① 1つ目の目的は、「イルミナティ」にとって貴重な領土であるハワイ州の支配権を失わない為。彼らに取ってハワイ州が貴重である理由は、彼らが、オアフ島の下を中心にハワイ州の下に、「**海の下を通る地下深層トンネル・システムで全てのメインの島々が繋がっている地下深層基地**」を有している事で、この基地は、宇宙船や潜水艦が出入りできる大きな軍事基地となっている事でありながら、前回触れた様に、「イルミナティ」の全世界に渡っての「子供の人身売買ネットワーク」においての極めて大事な「**子供の人身売買拠点**」を持っている事
 - ② 2つ目の目的は、「**ハワイ王国の伝統的な首都ラハイナに住むハワイ先住民**」を殺害し、彼らの土地を奪い取って、ラハイナ全体を市民が奴隷の様に管理される「スマート・シティー」にし、アメリカ本土全域に建設予定の「スマート・シティー」の最初のモデルとする計画である事
 - ③ 3つ目の目的は、ラハイナに住む子供達をできるだけ多く誘拐する事
 - ④ 4つ目の目的は、この作戦を成功させ、将来に渡って彼らの「スマート・シティー」に関連する全ての計画を成功できる様に、ルシファー(悪魔)への生け贄として多くの人を殺す事
 - ⑤ 5つ目の目的は、ラハイナの地下に「**子供を收容したり、子供に対する悪魔的な性的虐待をルシファーへの生け贄として殺したりする施設**」があり、この施設を暴露しようとしていたラハイナ在住の証人達を殺す事
前回触れた様に、ラハイナの近辺に「デイビッド・ロックフェラー」の孫である「マーク・ザッカーバーグ」、「ビル・ゲイツ」、多くの芸能人等の「ルシファーを崇拝する億万長者達」は家を所有していて、この施設を良く使っている事
ハワイの地下深層基地にある「子供の人身売買拠点」と直接のトンネルで繋がっているこの「ラハイナの地下施設」は、これらの億万長者達の家屋の地下と直接繋がっている場合もあり、この億万長者達の家屋以外の入り口も何か所にもある事
 - ⑥ 6つ目の目的は、この億万長者達の家屋以外の市民に発見された入り口を破壊する事。この億万長者達の家屋に隠された入り口は、全てそのままに残された事
 - ⑦ 7つ目の目的は、「**光同盟**」においての不可欠な存在である「**宇宙軍**」がマウイ島に運営する極めて重要な基地の運用能力を破壊する事
[前に述べた様に、米軍には、「**ロックフェラー家等のイルミナティ達**」が支配する「**闇側**」の部分と、「**光同盟**」に属している「**光側**」の部分があり、これは「**光**」と「**闇**」との戦いである事]
[**DARPA**(国防高等研究計画局)と **CIA** や **FEMA**(連邦緊急事態管理庁)などによる、「米軍施設と米国の領土内の米国民に対するこの明白な攻撃」は、「アメリカ合衆国共和国に対する確固たる戦争行為」であり、それは完全に記録されている事]
[これは、「光同盟」がこの7年間行ってきた壮大な囮捜査のもう一つの部分であり、この囮捜査を完了する日は近づいている事] [この裏切り行為に関与した裏切り者や外敵の全ては、近い内に、この惑星の社会から永遠に肅清される処である事]

[イルミナティがハワイ諸島をハワイ王国から奪い取った歴史]

- ① 「イルミナティ」がハワイ州の領有権を失わない為の措置として、この「攻撃作戦」を行った「1つ目の目的」を理解する為には、関連する歴史を理解する事が重要である事
- 7月の会議で述べた様に、「イルミナティ」は、1871年に、米連邦議会の特別法により、「アメリカ合衆国共和国」を消滅し、「THE UNITED STATES OF AMERICA, LIMITED」(アメリカ合衆国有限会社)という企業を置き替えた事
 - そしてこの表に示されている様に、その「アメリカ合衆国有限会社」は、「ワシントン D.C.」の子会社として登録されたので、「シティ・オブ・ロンドン」の孫会社であり、「バチカン」のひ孫会社となっている事で、「イルミナティ」の所有している「会社」である事
[厳密に言うと、7月の会議で述べた様に、「光同盟」によって、これらの4つの法人は2021年に解散された事]

背景: 1871年に、連邦議会の特別法により、「アメリカ合衆国共和国」が消滅し、「THE UNITED STATES OF AMERICA, LIMITED」(アメリカ合衆国有限会社)という企業を置き替えた事

[所有関係性]

「イルミナティ達」 = 「ロスチャイルド・ロックフェラー達」 = 「闇側達」

- | | |
|-----------------|------|
| ① 「バチカン」 | 会社 |
| ② 「シティ・オブ・ロンドン」 | 子会社 |
| ③ 「ワシントン D.C.」 | 孫会社 |
| ④ 「アメリカ合衆国有限会社」 | ひ孫会社 |

- 1893年1月17日に、「イルミナティ」は、ハワイ王国から「ハワイ諸島の領土」を奪い取る為、彼らの所有している「アメリカ合衆国有限会社」の軍隊を使って、「リリウオカラニ女王」に対して違法なクーデターを行った事
- 5年後の1898年7月7日に、「イルミナティ」は、違法に、ハワイ領土を正式に「アメリカ合衆国有限会社」に併合させた事で、「ハワイ王国」の領土の窃盗(せつとう)を完了させた事
- そして、1959年8月21日に、「イルミナティ」は、ハワイを不法に彼らの「アメリカ合衆国有限会社」の管轄下の州にさせた事。彼らは、ハワイを「アメリカ合衆国有限会社」が所有する法人として登録した事によって、ハワイ州は、「イルミナティ」の所有している「バチカン」のひ孫会社となった事
- 「イルミナティ」にとって、ハワイは、アジアを支配する為、「アメリカ合衆国有限会社」の軍隊を利用できる戦略的に重要な位置であった事
- 「イルミナティ」は、ハワイの地表に多くの軍事基地を設置する一方で、前述の様に、オアフ島の「地下深層の大規模の軍事基地」及びそれと全てのメインの島々と繋ぐトンネル・システムを開発し始めた事
- やがて、「この地下深層基地とトンネル・システム」は、「イルミナティ」の海底より深く走る「磁気浮上の高速電車システムのネットワーク」に接続され、全世界を結ぶ様になった事
- 前述の様に、「このハワイの地下深層基地」にある「子供の人身売買拠点」は、「イルミナティ」の「オーストラリアの子供の人身売買ネットワーク」や「台湾の子供の人身売買ネットワーク」等のアジアの「子供の人身売買ネットワーク」とカリフォルニア州と北米全体の「子供の人身売買ネットワーク」と繋がる重要なハブになっている事
- **DARPA**(国防高等研究計画局)と**CIA**がこの地下深層基地で行なっている「マインド・コントロールのプログラム」をはじめとする邪悪な事業は他にもたくさんある事

- 「**光同盟**」は、この大きな不正を正し、「ハワイの領土」を「ハワイ王国とその先住民」に返還する事を計画している事
- 「イルミナティ」は、これを何としても阻止したいという事
- 「ハワイ王国の伝統的な首都であるラハイナとその先住民」を地上から消し去り、その土地を「スマート・シティー」に早変わりさせる事によって、領土を「ハワイ王国」に返還する十分な理由を呈する事がより難しくなる事
- それに、「イルミナティ」は、ラハイナのみならず、ハワイの先住民の人口を更に減少させる計画を持っていて、ハワイの先住民の殆どが消し去れていけば、返還する先が消えるという狙いである事
- 「光同盟」も、全世界も、それを絶対にさせない事
- 「ハワイの先住民と彼らの国」、そして「世界中の全ての先住民族」に対する「イルミナティ」の悪行は、もうここで、終える事
- この「人類に対する邪悪な罪」に関与した一人一人は、直ちにこの惑星の社会から永遠に肅清される日は近づいている事。
[一人も逃れません]

- ② ラハイナ及びハワイ全土に限定する事なく、全世界において、「**ロックフェラー家**」の「**国連**」と「**世界経済フォーラム**」の「**グローバル計画**」は、彼らのワクチン等の有毒薬品に併せて、彼らが作り上げる火災、飢饉や干ばつによって、全世界の人口の 93%を減少させて、残りの人々を土地から追い出し、「スマート・シティー」のキューブ型アパートに移住させる事。そこで、「ロックフェラー家等のイルミナティ達」は、世界の残っている市民を「彼らの奴隷化された羊」の様に完全に思う様に統制できる事になる事
- そして、「イルミナティ」は、彼らの「**ジャンプ・スマート・マウイ・プロジェクト**」で、ラハイナを初の「スマート・シティー」にしようとは何年も前から計画している事
[2015年に公開された「ジャンプ・スマート・マウイ・プロジェクト」のビデオの紹介]
この2015年のビデオに見られる様に、このスマート・シティーは、ここハワイの伝統的な首都である「ラハイナ」に位置している事。ここに住んでいるハワイの先住民は、決して手放そうとしない大事な土地である事

[イルミナティのラハイナに対する攻撃作戦]

- 「ラハイナのハワイ先住民とその他の住民」を壊滅させ、彼らの土地と多くの子供達を奪う為の「**イルミナティ**」の計画した「**攻撃作戦**」は、次の2つのフェーズに分かれていた事
 - ① [フェーズ1]: 先ず、標的とする「ラハイナのハワイ先住民とその他の住民」及び彼らが所有する家屋、商業ビル、車、ボートの全てを破壊する一方、内部関係者と彼らの財産をそのままにする為に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を実行する事
 - ② [フェーズ2]: そして、「米国の**連邦緊急事態管理庁**」(**FEMA**)の**作**員達が「**州兵の制服を着た FBI 捜査官達**」や「**腐敗した警察官達**」と共に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」を生残った生存者や目撃者をラハイナ市内に閉じ込めて殺害する事
- この複雑に組織化され調整された作戦には、何年間の計画と準備が必要であった事
- この作戦における「攻撃段階」の「フェーズ1」と「フェーズ2」の両フェーズの準備と実行を説明する前に、「**指向性エネルギー兵器**」及び「どの様にその兵器を使えばラハイナの住民と彼らの財産に甚大(じんだい)な破壊を与える事ができるか」を理解する事が重要である事
 - 「**指向性エネルギー兵器**」は、極めて正確に使用できる「**極度の破壊力**」を発揮する兵器であり、人工衛星に付いている「**指向性エネルギー兵器**」では、望めば、或るペンの先端だけを破壊する事ができる程、精密に使える兵器である事

- 「**指向性エネルギー兵器**」は、極めて破壊的な「高温で燃える火災」(高熱火災)を引き起こす為に使用する事も可能である事
- 「イルミナティ」のラハイナに対する攻撃には、「**指向性エネルギー兵器**」で、この両方の破壊方法を利用した事
- この壊滅的な攻撃を実行する為に、「イルミナティ」がどのように「**指向性エネルギー兵器**」を使ったかを説明する前に、まず「火事を作り出す基本的な技術」について説明をさせて頂く事
[図面、動画等を使った「火事の要素」と「極めて破壊的な高温な火災の作り方」の説明]
 - 「より破壊力のある高温の火事」を作り出すには、「酸化剤」を火に加える事が出来る事。「酸化剤」とは、酸素を含む分子のある物質で、特に高温をさらすと、その物質の分子に含まれている酸素が放出する事によって、火の燃焼する度合と速度を高める事ができる事

極めて破壊的な高温な火災を作る為に

高温で燃える **燃料**

燃焼度合と燃焼率を大きく高める為の **酸化剤** 及び

高温で燃える燃料を点火できる **点火源** を組合せる事

燃料 : アルミニウム等の金属の粉末(粒子が小さい程有効)

酸化剤 : 硝安(硝酸アンモニウム)(NH_4NO_3)

点火源 : 指向性エネルギー兵器(DEW)等のマイクロ波の放射(5G 等)

- 「イルミナティは、アメリカの本土やラハイナを含み世界中の多くの地域においての森林から農場と郊外まで、アルミニウム、バリウムやストロンチウムのナノ粒子、及び多種類の有害物質と病原体の含まれた液体を処によって数十年前から飛行機で噴き掛けている事。[ロックフェラー達のワクチンと呼ばれるバイオ兵器に含まれている有害物質の多くは、これらの飛行機から噴き出される液にも含まれている事]
- これらの飛行機から噴き出す液体は、風の状態によっては数時間「目に見える形」で残り、「**ケムトレイル**」と呼ばれている事。「ケム」は「化学物質」で、「トレイル」は、その化学物質の液体が形成する「跡」である事。[つまり、化学物質の液体の跡である事]
- 噴き掛ける目的は、大間かに、次の2つである事
 - (1) 土壌から生態系を破壊しながら人体を不健康・病気にさせる為。
 - (2) ある区域に「より破壊力のある高温の火事」を作り出したい時に、「指向性エネルギー兵器」による一瞬の発射によっていつでもできる為。[その場合は、事前に硝酸アンモニウムを噴き掛ける事が多い]
- 前々回の会議で紹介しました様に、「**ジョン・D・ロックフェラー**」は、1904年に「**イルミナティのトップの13家族の当主達**」が集合している処で「イルミナティの**秘密の誓約**」を発表した時に、彼はこう言いました。
 - 我々は、彼ら(市民)の食べ物や水、そして空気中に、軟質金属類(水銀やアルミニウム)、老化促進剤、鎮静剤を使用します。彼らはどこを向いても、彼らが毒にまみれる様にするのです。
 - 我々は、毒薬が彼らの飲むもの、食べるもの、吸うもの、着るものなど、身の回りのあらゆるものに隠されている様にするのです。

[指向性エネルギー兵器で攻撃されたカリフォルニア州の多数の地域社会の事例]

- マウイ島のラハイナのハワイ先住民とその他の住民の家屋、商業施設、車やボートを破壊する為に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」が使用された様に、特に北カリフォルニアを初めカリフォルニア州の多くの地域社会、そして世界中の国々の他の多くの地域社会の家屋、商業ビル、自動車やボートを破壊する為に、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」が使用されてきた事

[写真、地図や動画等を使った「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」の事例の紹介と説明]

- これらの多数の事例の写真と動画の様に、毎回マス・メディアは、「森林火災や山加火事で焼け野原となった地域である」という偽りの説明を報道するが、標的とされた家屋、業務施設、車やボート以外には、周囲の木々と周辺の森林等の植物は無傷のままに残されている事。

[森林を全く燃やさない現象は、「森林火災」又は「山火事」と呼べない事]

- これらの多数の事例の写真と動画の様に、人々の家や車だけが完全に破壊されるにもかかわらず、周囲の木々や森林は全く無傷のままに残される事は、何の現象で可能でしょうか？
- これらの地域の家や車の全ては、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」で破壊された事
- マウイ島のラハイナと他の区域と同様に、これらのカリフォルニアの各地域は、「666 テラヘルツという極めて高い周波数でマイクロ波」を放射する「**指向性エネルギー兵器**」で破壊された事
- これらの非常に高い周波数は、物質に吸収され、その結果、その物質は、非常に高い温度に加熱され、瞬時的に非常に小さな粒子に粉碎されたり、蒸発させられたりしないまでも、即座に燃焼させられる事
- 建物や車だけが破壊されながら、木々や森林が無傷のままに残される理由は2つがある事
 - (1) 第一の理由は、これらの「**指向性エネルギー兵器**」は非常に精密で、標的となる建物や車だけを特別に破壊する様にプログラムされているからである事
[その為に、標的されていない建物や車は全く無傷のまままで残される事]
 - (2) 第二の理由は、これらの建物を構成する金属、レンガ、プラスチック、ガラスなどの素材がマイクロ波を吸収する事によって極めて高温に加熱される事に伴って即座に破壊される一方、木々やその他の植物がマイクロ波を殆ど吸収しない為に無傷のままに残される事
- また、これらの動画と写真で明確に見える事は、標的にされた家、その他の建物や車が完全に破壊されている一方で、標的されていない建物と車は、周囲の木々と共に殆ど手付かずの状態である事です。
- これは、「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」が、標的した物を一度に一つずつ精密に破壊する為に使用されている事を示す明確な証拠です。

[指向性エネルギー兵器の概要]

- 「**指向性エネルギー兵器**」とは、「電子磁気エネルギー」や「素粒子」を集中させた「光線」(ビーム)を目標に照射するものであり、「高エネルギーレーザー」、「固体レーザー」、「高出力マイクロ波」、「荷電粒子ビーム」(粒子線)などがある事
- 「イルミナティ」によるカリフォルニア州の各地域及びマウイ島のラハイナ等のコミュニティに対する攻撃で使用された「**指向性エネルギー兵器**」は、「高周波数のマイクロ波」を利用した兵器である事

- 複数の絵と写真に示されている様に、「**指向性エネルギー兵器**」は手で持つ事もできるし、タワー、陸上車両、海上船舶、航空機、ドローン、衛星に取り付ける事もできる事
- 「イルミナティ」がマウイ島での攻撃を実行した時に、これらの殆どの方法(ドローンでも、飛行機でもなど)を選択する事が可能であったが、マウイ島とカリフォルニア州のコミュニティを攻撃した時に、最も目立たない方法である「**衛星の指向性エネルギー兵器**」を選んで実行した事

[指向性エネルギー兵器による攻撃の写真と動画による事例]

[イルミナティのガザのパレスチナ人に対する「指向性エネルギー兵器」による攻撃の写真も]
[迫力のある3つの動画]

[イルミナティが飛行機で噴き出された「ケムトレイル」の複数の写真による事例]

- これらの写真の様に、「イルミナティ」は、彼らがコントロールしている米軍の「闇側」、その他の「闇側」の軍隊や契約飛行機会社経由で、飛行機を使って、アルミニウム、バリウム、ストロンチウムのナノ粒子を森林等の区域に噴き掛けている事

[指向性エネルギー兵器で、事前に噴き掛けられた区域での火災を起こす事の事例]

[ロックフェラー家の国連による「アジェンダ 21」と呼ばれる計画]

- 1992年に、「**ロックフェラー家**」の「**国連**」は、21世紀の為に「**アジェンダ 21**」と呼ばれる計画をまとめたものであり、この計画は、「ロックフェラー家」の「**世界経済フォーラム**」が積極的に推進しているもので、世界の市民を「スマート・シティ」や同様なものである「レジリエント・シティ」に移住させる事を目的としている事
 - この計画では、彼らの「アジェンダ 21」の地図の様に、人間が使う事のできない領土の大部分を指定している事
 - この10年間に、「イルミナティ」の「**指向性エネルギー兵器による攻撃**」によって壊滅されたカリフォルニア州の多数の「地域社会」の全ては、「人間の使う事の出来ない」と指定されている赤い地域内」である事。それがまたこの地図の茶色で示されている区域内である事
 - そして、これらの壊滅した地域は、「イルミナティ」が高速鉄道システムの建設を計画している地域にも一致している事
 - マウイ島、そしてその後のハワイの他の地域と同様に、ここのカリフォルニア州でも、「イルミナティ」は、「人間の使い禁止の地域」から、人々を排除する計画の実行を加速し始めている事

[1987年映画「ロボコップ」で指向性エネルギー兵器によるカリフォルニア州の攻撃]

- この映画の中で見られる様に、ニュースチャンネルのアナウンサーは、こう言います。「カリフォルニア州サンタバーバラで、今日、「衛星レーザー兵器」が定期的な起動テスト中に誤射し、1万エーカーの「森林地帯の住宅地」が一瞬で、焦土と化しました。」
 - 前に紹介した様に、複数の目的の為に、この様に、「イルミナティ」は、彼らの将来の計画を映画、漫画や音楽などで示唆する事が多い事